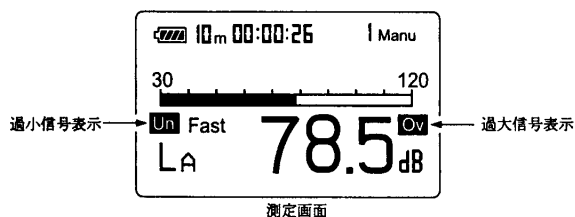
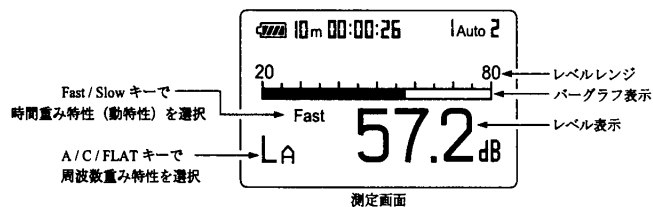


音環境（騒音）の測定

5. 補足

- 1) 測定の際には、レベルレンジを設定する必要がある（下図を参照。）。
- 2) 室内騒音の測定の際には、騒音レベル（A特性）、音圧レベル（平坦特性）もあわせて測定する。
プログラムカードを装着している場合は、1/oct バンドフィルターを、AP（オールパス）に設定し、なおかつ、A/C/FLATキーで、A特性（ L_A ）もしくは、平坦特性（ L_p ）を選択すればよい。

5. Level Range キーでレベルレンジを設定します。バーグラフの表示が中央付近を指示するように設定してください。
「**OV**」(Over) または 「**Un**」(Under) がたびたび表示されるようであればレベルレンジを設定し直してください。



Level Range キー ▲、▼

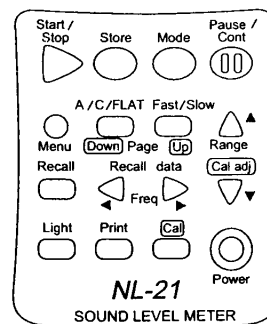
測定する際のレベルレンジを設定します。

レンジは次の6段を設定できます。

20～80、20～90、20～100、20～110、30～120、40～130

フィルター動作時は、10～70、20～80、30～90、40～100、50～110、60～120、

70～130の7段階動作となります。



質問・レポートの提出先は、

辻原研究室（環境共生学部棟旧棟（生活科学部棟）4階）まで

（電話：096-383-2929（内線492）, E-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp）

もしくは、

平川助手室（環境共生学部棟旧棟（生活科学部棟）4階）まで

（電話：096-383-2929（内線481）, E-mail：hirakawa@pu-kumamoto.ac.jp）